

各取組み	項目と概要	把握の方法	把握の頻度	目標設定の考え方	備考
「みどりと共生するまち」に関する取組み	〇〇地区における雨水流出抑制策による雨水流出の抑制量【新規】 モデル地区を設定 新たに確保する浸透・貯留機能 △△m ³	市有オープンスペースにおける流出抑制 敷地内の土地利用別浸透量+抑制施設浸透量	毎年	都市型水害（内水）に対する「流域治水」の取組みとして、モデル地区及び目標値を設定する	
	緑の雨水保水機能【新規】 市域全体の保水能力：現況値を維持・向上	緑の分布調査による緑被面積の割合を基に、 1 - [市域に占める各土地利用形態の割合×各土地利用形態ごとの流出係数（0.15～1.0）の合計] の計算式を用いて算出。	5年に1回	市域における防災機能の一つとして、保水能力を土地利用形態別に算出	【参考】R1：0.58
「みどりで選ばれるまち」に関する取組み	仙台都心部緑化重点地区内緑被率【継続】 現況値14.2% → 現況値を維持・向上	航空写真（現行と同じ）	5年に1回	緑化にかかる各施策の総合的なアウトプットの把握として	過年度実績に基づき、目標値を設定する
	仙台都心部緑化重点地区内緑視率【拡充】 地区内平均緑視率：現状値以上 または 25%以上の地点を現状より増やす	「市街地の緑の回廊」の街路樹10路線、これ以外の街路樹路線、仙台駅前等にぎわいの中心となる箇所等で計測	5年に1回	街路樹や緑化施策のアウトカム の把握として	R2年度実績（現在調査中）に基づき、目標値を設定する
「みどりを誇りとするまち」に関する取組み	名木・古木の新規保全（保存樹木の指定）【新規】 〇〇箇所	毎年の実績（進捗状況）を把握	毎年	地域のランドマーク保全、地域資産の確保	過年度実績に基づき、目標値を設定する
	街路樹の再生（更新）【新規】 〇〇路線/5年	毎年の実績（進捗状況）を把握	毎年	街路樹の適正な維持管理に関する取組みの指標として設定する	
「みどりとともに人が育つまち」に関する取組み	市民の公園利用頻度【継続】 「みどりの市民意識調査」において、住まいの近くの公園利用頻度 月1回以上の利用するの割合：現況値を維持・向上	住まいの近くの公園の利用頻度を尋ねるものであり、無作為抽出による市民5,000人を対象としたアンケート	5年に1回	現行計画に引き続き指標として設定	【参考】R1調査では36.2%
	身近なみどりの満足度【新規】 「みどりの市民意識調査」において、身近なみどりの満足度について、量・質ともに十分と回答する市民の割合：現況値を維持・向上	身近なみどりの印象を尋ねるものであり、無作為抽出による市民5,000人を対象としたアンケート	5年に1回	量と質の確保	【参考】R02調査では34.7%
「みどりを大切にすまち」に関する取組み	多様なパートナーとの連携（新たに民間事業者により設置管理を行う公園施設）【継続】 〇箇所/〇年	毎年の実績（進捗状況）を把握	毎年	公園での持続可能な管理体制の確立の一つとして、多様な主体との取組みを指標として設定する	【参考】直近5年間で3箇所
	「ふるさとの杜再生プロジェクト」における市民育樹・植樹【新規】 参加者数〇〇人規模の育樹等のイベントを継続実施する	毎年の実績（進捗状況）を把握	毎年	みどりの機能（防災減災）に関する取組みへの市民参加状況を把握する指標として設定する	過年度実績に基づき、目標値を設定する

・「〇〇」としている目標値は今後検討予定